

● スキャナを濃度計(デンシトメータ)に

● マルチスキャンで
ノイズを低減

● インターバルスキャンで
自動顕微観察

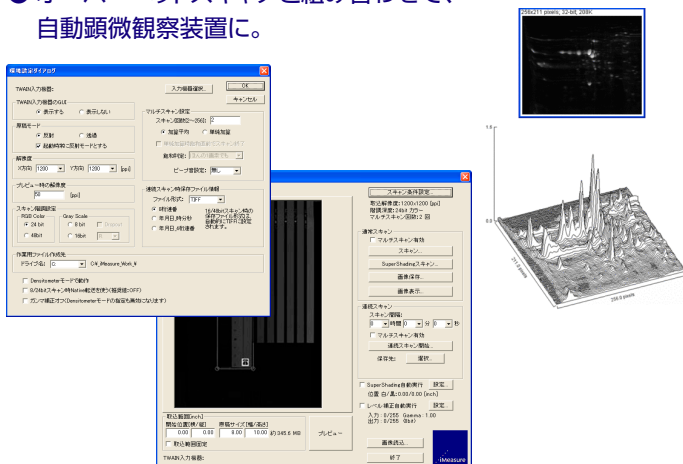


iMeasureScan の特徴

- お手元の TWAIN 対応イメージスキャナを駆動します (*1)
- DENSITOMETER(濃度計)機能搭載 (*2)
- マルチスキャン機能でノイズ低減
- 連続(インターバル)スキャンモードで低速度撮影
- 16bit/48bit の TIFF 画像に対応
- ドロップアウトカラーで色を消す

iMeasureScan の応用事例

- DNA/ タンパク質検査用電気泳動ゲルの定量的な可視化。
ImageJ との組み合わせで 3-D 表示や定量分析が可能です。
- オーバーヘッドスキャナと組み合わせ、
自動顕微観察装置に。



iMeasureScan 基本仕様

動作環境	Windows XP / VISTA / 2000 TWAIN 対応
取込寸法	イメージスキャナに依存
原稿種類	反射/透過 (透過対応は EPSON スキャナのみ)
User Interface	プレビュー機能 取込範囲指定 マウスでフリーハンド指定/ 4つのパラメータで直接数値指定/ ロック機能
UI	メーカー提供の UI / iMeasureScanUI (*2)
Image	ImageType: Color : 24bit/48bit GrayScale:8bit/16bit ドロップアウトカラー Red/Green/Blue 解像度指定 50, 100, 200, 300, 400, 600, 800, 1200, 1600, 2400 [ppi(=dpi)] 縦方向と横方向の解像度別々に指定可能。 ガンマ 2.2/1.0
File	保存ファイル名 8 桁連番/年月日時分秒/ 年月日_4 桁連番 保存ファイル形式 BMP, TIFF
Function	連続スキャン 時分秒単位で指定。 マルチスキャン機能 加算平均/単純加算。最高 256 回まで加算 作業ファイル作成先ドライブ指定機能 PostProcess 機能 レベル補正/スーパーシェーディング補正

(*1) iMeasureScanにてスキャナを駆動できるためには、イメージスキャナーメーカーが供給する TWAIN data source が、UI Suppress機能に対応している必要があります。詳細は、イメージスキャナーメーカーにお問い合わせください。

(*2) イメージスキャナの TWAIN data source が、TWAIN の標準コマンド、ICAP_GAMMA(*3) に対応している必要があります。詳細は、イメージスキャナーメーカーにお問い合わせください。

(*3) TWAIN 仕様書